

**在宅サービスを  
熟考している  
「ほのぼの在宅合同  
担当者会議」**

保健・医療・福祉間の連携の強化として、ほのぼの施設内の在宅サービスに関わる関係者が集まり、共に考える場として、2008年からこの会議が始まりました。現在も毎週水曜日に開催しています。



- 主な内容は次の通りです。
- 在宅で療養する際の問題点の共有と解決策の検討
- 本人の希望を踏まえた支援方法の検討
- 病院から在宅へと移る際の情報共有
- 様々な分野の知識や技術の情報共有

これらのことを、約11年の間、率直に意見が言える場として続けてきたことで、顔の見える関係だけでなく、信頼できる関係を築くことができている。これは在宅サービスにおいて非常に大切な事であり、本町において、大きな強みです。

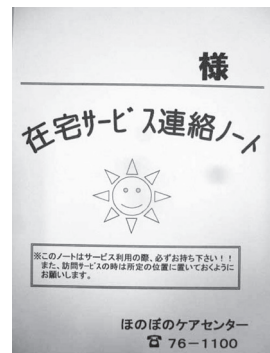
在宅療養するにあたって困難な事例もたくさんありますが、今後も垣根を超えた連携を行い、本人の希望を支援し、また課題を解決できるように取り組んでいきます。

**全国的にも珍しい  
「在宅サービス  
連絡ノート」**

本町では、在宅で介護や医療のサービスを受けている人に「在宅サービス連絡ノート」を導入しています。

このノートは、介護保険サービスが開始になった翌年（2001年）から運用を開始しました。きっかけは、「在宅サービスを受ける人は1人なのに、事業者ごとにノート

があつて分かりにくい！」という現場の声から生まれたものです。



黄色いノートです

このノートは、その日の利用者の様子を各事業者が記入し、家族からの連絡や意見を記入することもあり、分かりやすい内容となっております。要介護者等の在宅生活を支えるために多くの職種が関わりますが、大きな課題が2つあります。それは、様々な職種間の連携と情報共有の不足です。

全国的に、これらの課題解決のための動きはありますが、システムの導入に数千万〜数億円の費用がかかるため、なかなか進んでいない現状があります。しかし、このノートを導入している本町では、これらの大きな課題を既に達成しつつあります。

このノートの取り組みは非常に珍しく、全国に先駆けた本町は次なるステップに進みつつあるといっても過言ではありません。

**ミニ検診・健康相談等  
を行います**

10月19日（土）に、毎年恒例の「ほのぼのフェスタ」を智頭町保健・医療・福祉総合センター「ほのぼの」で開催します。智頭病院では、血圧測定や血糖値測定などのミニ検診や、歯科医師による歯科相談、看護師による健康相談を行います。この機会に自身の健康状態をチェックし、日々の生活習慣を見直すきっかけにしたいかがでしょうか？当日の相談、ミニ検診はいずれも無料です。皆さん誘いあわせのうえ、参加ください。

